

眼内レンズの種類と選び方

白内障手術は、長年使用して汚れてしまったレンズを新しいレンズに取り換える手術です。小さなメガネを目の中に埋め込んでしまうというイメージです。

正式には「眼内レンズ」といいますが、メガネやコンタクトと同様に度数を選ぶことができます。ただし、一度入れた眼内レンズは基本的に交換はしないため、度数決めは手術前である今しかできないことです。手術後にどんな見え方になりたいかをイメージしながら決めていきましょう。



■単焦点眼内レンズ（保険診療）

①遠方に合わせる

メガネなし(※)で2m以上先が見えます。

手元を見る時は老眼鏡が必要になります。

若い頃からメガネなしで生活されていた方はこれまでと同じ様な見え方になるので一番自然と言えるでしょう。

②近方に合わせる

メガネなし(※)で手元(30~40cm)が見えます。

近視になるため日常的にはメガネが必要になります。

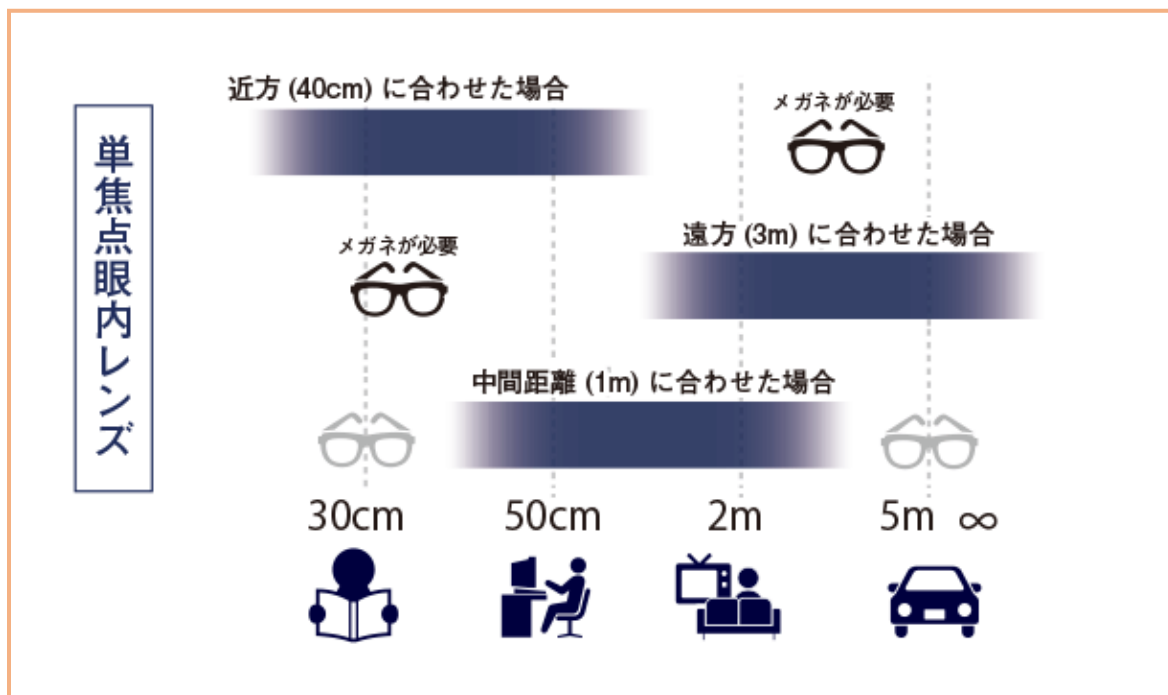
元々強い近視の方や、仕事や趣味で近方作業を優先したい方、他に目の病気があり視力の回復が困難な方などは近方に合わせることをおすすめします。

③中間距離に合わせる

メガネなし(※)で1m前後が見えます。

食事や料理、家族団らんなど家の中ではこのくらいの距離でものを見ていることが多いです。家の中では基本的にメガネなし、出掛けるときや手元の作業をするときは必要に応じてメガネをかけるという生活イメージが合う方にはおすすめです。

(※)乱視が強い方は乱視用メガネが必要になる場合があります。



■多焦点眼内レンズ（自費診療）

多焦点眼内レンズには、

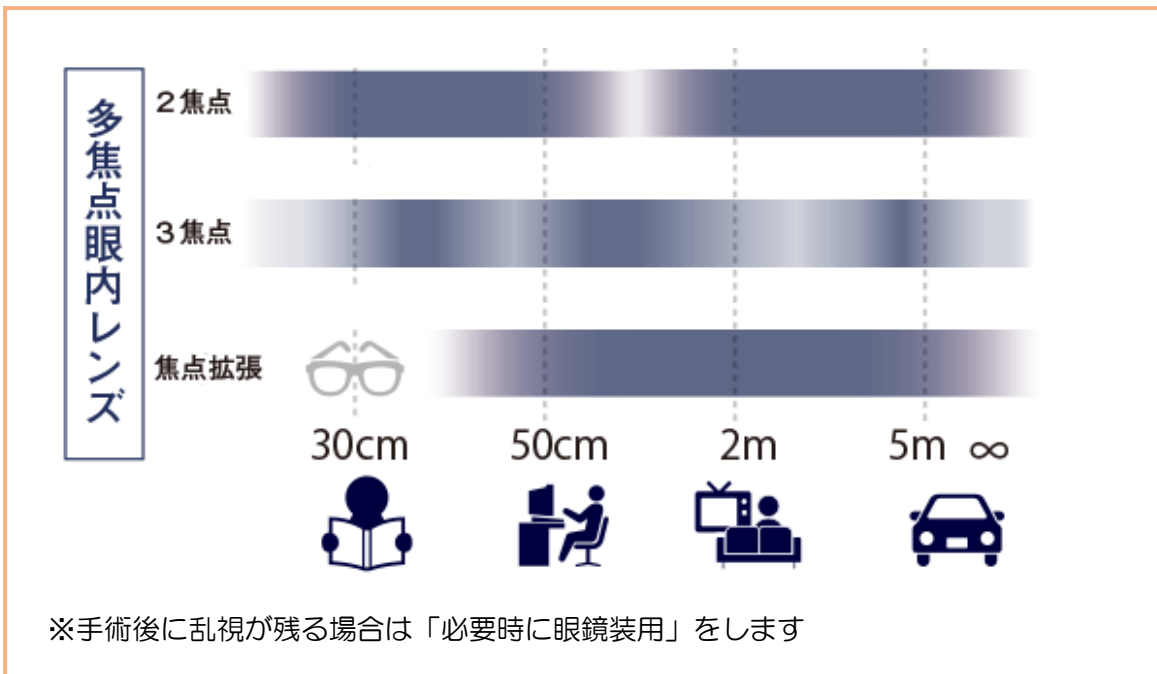
- 1) 2焦点レンズ（遠方と近方に合う）
- 2) 3焦点レンズ（遠方・中間・近方に合う）
- 3) 焦点拡張型レンズ（遠方～中間までが連続的に見える）

の3タイプが存在します。（当院では3焦点と焦点拡張型の2タイプを扱っています。）

最大のメリットはピントが複数箇所にあうおかげで術後にメガネへの依存を減らせる点です。

（※メガネ不要になるわけではありません。）

ただし、単焦点レンズと比べて必ずしも良い点ばかりではありません。デメリットもきちんと理解し了承した上で選択しないと「思っていた見え方と全然違う！」となってしまいます。



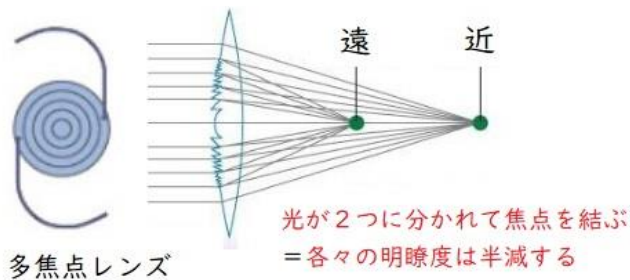
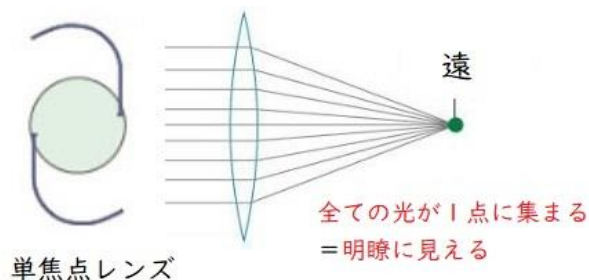
▶多焦点レンズのデメリット

- ①ピントが甘い
- ②ハローグレア現象
- ③費用が高額



デメリット①：ピントが甘い（コントラスト感度の低下）

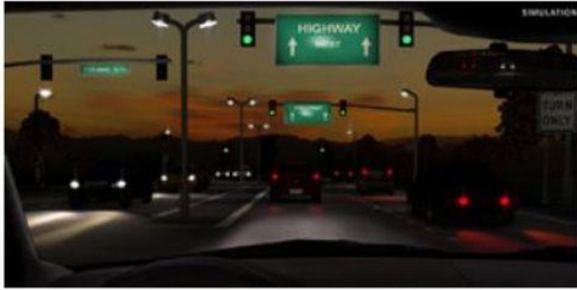
一般的なカメラのレンズを想像していただくとわかるように単焦点レンズは表面がツルっとして見え方も非常にシャープで綺麗です。比べて多焦点レンズは複数の距離にピントを合わせるために表面がギザギザしていたり距離に合わせた複数のレンズが混ざっていたりと非常に複雑な構造をしています。そのため、ピントは2～3カ所には合うのですがそれぞれのシャープさは単焦点レンズより劣ります。



デメリット②：ハローグレア現象

多焦点レンズは前述のように構造が複雑なため光がレンズを通過するときに必ず散乱を起こします。日中はほとんど気になりませんが、夜間車の対向車のライトや電灯が拡散して見えるハローグレア現象が生じます。気にするかどうかですが、夜間車の運転をする方にはおすすりできません。

■ハログレアシュミレータによる術後視覚のイメージ比較（個人差があります）



単焦点眼内レンズ



多焦点眼内レンズ

デメリット③：費用が高額

多焦点レンズは保険適応外のため高額なレンズ費用が自費負担となり高い治療費がかかります。金額は保険診療の単焦点レンズ手術の約10倍に及びます。（費用の詳細は後述）

すると「高額＝優れた治療？」と考えがちですが、治療内容は目に入れるレンズの種類が異なるだけで**単焦点も多焦点も手術内容は全く同じ**です。金額は施設間で差がありすぎないように厚生労働省が決めっていますが、保険がきかないとこれ程までにご負担額に差があるのでのかと我々も驚愕します。

ですので、多焦点レンズのメリット・デメリットをしっかりと理解した上で選択しないと「**高いお金を払ったのに思った見え方と違う**」という気持ちになりやすいのです。

最終的にレンズを選択するのは患者さまですが、本当にあなたの目に合うレンズなのかをよく執刀医に確認し、理解ができた上で選択するように心がけましょう。

多焦点レンズか単焦点レンズの決め方 （迷ったらこう考えましょう）

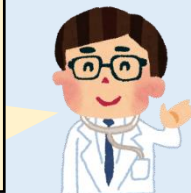
見え方の質はやや落ちてても、
高額な治療費がかかっても、
眼鏡をかける頻度を少なくしたい方

⇒ **多焦点レンズ手術**

クッキリ鮮明な見え方を優先する方
眼鏡をかけることに抵抗がない方

⇒ **単焦点レンズ手術**



をおすすめします。



※多焦点眼内レンズをすすりない人

- ①お仕事・趣味に夜間運転や近くを見る作業が多い、繊細な色彩感覚が必要な方（タクシー・トラックなど職業運転手、デザイナー、写真家、画家など）
- ②白内障以外の目の病気を合併しており医師が不適當と判断した方
- ③医師の説明を十分に理解・納得できない方、理想が高すぎる方

川口眼科であつかう多焦点眼内レンズの種類と機能一覧

費用算定		自費診療	
種類		3焦点	焦点拡張
レンズ名称		ファインビジョン  <small>FINEVISION focal optic Far Intermediate Near</small>	ミニウェルレディ  <small>miniwell READY PROGRESSIVE IOL</small>
ピント (焦点距離)		遠方・中間・近方 (65cm)(40cm)	遠方～近方 (45cm)
乱視矯正		○	○
ハローグレア		あり	ほぼ無
コントラスト感度		▲	◎
得意な 作業距離	読書	◎	○
	PC作業	◎	◎
	ゴルフ	◎	◎
	夜間運転	▲	◎
費用 (片目あたり)	乱視なし	500,000円 (税込550,000円) 前金:150,000円 (税込165,000円)	
	乱視あり	550,000円 (税込605,000円) 前金:200,000円 (税込220,000円)	

※自費診療の上記金額の内訳には、
 「術前検査費用＋手術費用＋眼内レンズ代＋術後3カ月分のお薬・検査費用」
 のすべての代金が含まれています。

※両眼手術の場合、**上記の金額×2**となります。

ファインビジョンの特徴

3焦点眼内レンズ

遠近両用の2焦点眼内レンズを入れると遠くと近くが眼鏡なしで見えるようになります。ただ、仕事上ほとんどの方が使われるパソコンなどの中間距離は見えにくいという欠点がありました。それを補える遠方、中間、近方が見える3焦点眼内レンズです。特に現役でバリバリ仕事をする方にはおすすめのレンズです。

先進国では、ヨーロッパを中心に約20%以上がこのようなプレミアムレンズを選び、FINE VISIONは現時点で使用できる最先端のレンズとなります。もちろん乱視矯正レンズの用意もあります。3焦点レンズは眼の症状によっては適応、不適応がありますので、手術前に担当医師とよく相談して手術を決めて下さい。



ミニウェルレディの特徴

EDOFレンズ

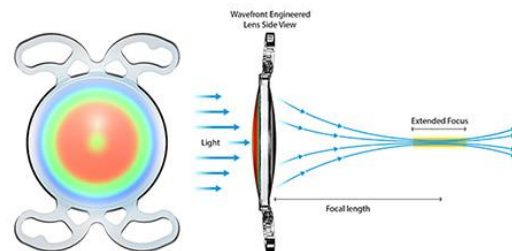
(遠方から近方まで連続的に自然に見えるレンズ)
EDOF (焦点深度拡張型)のレンズで、球面収差を利用し遠方から近方まで焦点を結ぶ範囲が広い画期的なレンズです。

従来の多焦点レンズで見られたハロ・グレア現象も改善され夜間も視界がクリアになり、より自然な見え方が実現されています。また一般的な多焦点レンズのデメリットであるコントラスト感度の低下(ピントの甘さ)もほとんどなく、生体の水晶体に最も近いと言われるレンズです。

近方視(本を読む30~40cm)はやや弱いですが、手元の細かい文字は眼鏡が必要なケースもありますが、夜間自動車の運転が多い方や、遠方重視のスポーツをされる方、料理やパソコンなどの中間距離重視の方にもお勧めです。



miniwell
READY
PROGRESSIVE IOL



費用について

単焦点眼内レンズを用いた白内障手術（水晶体再建術）は**保険診療**です。

自己負担	手術費用
1割	約 12,000円
2割	約 24,000円
3割	約 36,000円

+検査・お薬費用

(片目あたり)

多焦点眼内レンズを用いた白内障手術は、健康保険のきかない**自費診療**です。

白内障手術に関わるすべての診療行為が自費診療となるため、金額は高額ですが、その金額の内訳には「術前検査費用+手術費用+眼内レンズ代+術後3カ月分の点眼薬・内服薬・検査費用」の**すべてが含まれています**。

多焦点眼内レンズの種類と費用

眼内レンズの種類	手術・検査お薬(術前～術後3か月)・眼内レンズ 総費用	
ファインビジョン ミニウェルレティ	550,000円	前金:165,000円
ファインビジョン乱視用 ミニウェルレティ乱視用	605,000円	前金:220,000円

※片目あたり (税込)

※海外より発注をするこれらのレンズは患者様ごとのオーダーメイドのため、発注後の無償キャンセルができません。そのため**前金**を納めて頂いた後にレンズを発注しております。万一手術をキャンセルする場合にはその前金をキャンセル料に充当させていただきます。

手術の際は合計の手術費用から前金を引いた差額をお支払い頂きます。

(銀行振込を選択された方は手術日1週間前までに振込となります。)

お支払方法の詳細は後添付資料をご参照ください。予めご了承ください。

※**両眼手術**の場合、**上記の金額×2**となります。



いかがでしたか？

あなたに合うレンズがイメージできましたでしょうか？

でも、知れば知るほど迷うものです。

なかなか決めきれなければ今は「なんとなくコシかな？」で構いません。

次の術前検査のときの診察で遠慮なく医師にたずねてみてください。

- あなたのライフスタイル（生活・仕事・趣味）
- 術後にメガネをかけることに抵抗があるか
- 治療にかけられる費用

これらから患者さまにとって無理のない、最も合ったレンズ選びをできる限りお手伝いさせていただきます。

私の経験的に、すべて医師まかせで他人が選んだレンズではなくご自身で一生懸命考えて決めたレンズであれば、納得の得られる見え方になることがほとんどです。

もちろん、術後もなにか気になることがあればご遠慮なく執刀医に相談してください。少しでも良くなるよう努力してまいります。

執刀担当医 蒲山順吉



お支払い方法

※単焦点眼内レンズでの白内障手術（保険診療）の費用は、手術当日にすべて窓口での現金払いとなりますので予めご了承ください。

※多焦点眼内レンズでの白内障手術（自費診療）

①銀行振込

▼前金のお支払い

術前検査日に医師の説明にご納得いただきレンズ決定されましたら、その後3営業日以内に指定口座へ消費税込の金額をお確かめの上、お振込みください。振込確認後にレンズを発注いたします。

▼残金のお支払い

手術の1週間前までに消費税込の金額を指定口座へお振込みください。
※手術直前に体調の変化などで手術を中止・延期する場合は払戻しいたします。



〈お振込先〉

埼玉りそな銀行 川口支店 普通) 6 2 1 9 7 2 3

口座名義：(医) 恵寿会川口眼科

ご依頼人名には患者様の氏名をご入力ください。

②窓口支払

前金は術前検査日、残金は手術当日に窓口にて現金もしくはクレジットカード（ か  /一括払いのみ）にてお支払いください。

《生命保険・医療保険のご利用 について》

・個人加入の民間生命保険、医療保険によっては、保険診療の医療費が給付対象となる場合があります。手術前に必ず加入先の各保険会社にお問い合わせのうえ、給付金を請求する際には各保険会社の所定の診断書用紙を**手術当日**にお持ち下さい。

・診断書作成にあたり、1通5,400円（税込）の文書料がかかります。

・当院は入院設備を整えていないため“日帰り入院（日帰り手術でも入院を必要とするもの）”には該当しません。そのため“日帰り入院”に関する診断書は作成することはできませんのでご了承ください。詳しくはご加入の保険会社へ必ずご確認ください。

（保険金給付対象が「日帰り入院のみ」であり給付金がでないトラブルも増えているようです。）